

ミナミハンドウイルカの個体識別調査結果 (2022年)

今号では、2022年に実施したミナミハンドウイルカ個体識別調査の結果をご報告します。2022年は、聳島列島周辺海域6回、父島列島周辺海域31回、母島列島周辺海域3回の調査を行い、皆様からご提供いただいたデータと合わせて、のべ98個体を識別することができました。9個体が新たにデータベースに登録され、累計識別個体数は302頭となりました。特に、聳島列島の媒島周辺で出会った個体は未識別の個体ばかりで（イルカ通信No.111参照）、聳島列島や母島列島における調査の拡充の必要性を強く感じました。なお、調査にあたって、貴重な情報やデータをご提供くださった皆さまには、改めて御礼申し上げます。2023年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

最も出会えたイルカたち



👑 19回 #287 TATOO (♀) & #366 パチメ (♂) 親子



TATOOは2014年に初確認された個体で、体の左側後方に「W」のような形をしたワンポイントの白斑があるのが特徴。2020年の夏には初めて子供を連れてくるのが確認されました。その子供がパッチリ見開いたような目をした#366（パチメ）。2023年の夏で生後約3年を迎えるパチメは、2022年にはTATOOと離れて他のイルカと絡んでいる姿も観察されています。そろそろ親離れの時期が近づいてきておりますが、パチメは背ビレの下の方が少し欠けていますので、親元を離れても識別できそうです。

👑 18回 #19 スポッティ（♀） & #385 ビヘイブ（♂）親子



👑 17回 #342 ライン（♀）



母親のスポッティは、まだ子供だった2003年から識別されている20年選手。いまでは顔の左側にある「10」のような白斑が一番の識別ポイントです。出産経験も豊富で、2021年には新たに#385（ビヘイブ）を出産し、只今、育児の真っただ中。ビヘイブは顔の左側や尾柄部に特徴がありますので（詳しくはイルカ通信No.110参照）、今後も継続して追えそうです。ちなみに、ビヘイブの姉の#342（ライン）は、出会った回数第3位の17回。スポッティ、ビヘイブと一緒に群れにすることもありますよ。

...クジラの陸上観察会のお知らせ...

ザトウクジラの来遊シーズン中、おがさわら丸入港日の夕方に父島・ウェザーステーション展望台および母島・鯨ヶ崎展望台にて「クジラの陸上観察会」を開催いたします。それぞれの実施日時は下記の通りです。ご興味のある方、ご参加お待ちしております。

【父島】

場所：ウェザーステーション展望台
日程：1/25～4/9のおがさわら丸入港日
時間：16時～17時

【母島】

場所：鯨ヶ崎展望台
日程：2～3月のおがさわら丸入港日を予定
（詳細は母島観光協会のHPをご覧ください。）
時間：16時30分～日没



※どちらも参加無料。※天候・海況不良の場合は中止。※ご参加にあたっては、感染症対策にご協力をお願いいたします。